



萩市須佐地域

公民館だより

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

令和8年

4月

第634号

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

かわいい！ペンギン王国？！

須佐地区子ども会：海響館へ



ガラス越しにペンギンを観察する子ども達

《今月の話題》

- 須佐地区、弥富地区スポーツ大会・・・・・・・・・・2P
- 須佐地域内の小・中学校、保育園の卒園・卒業式・・3P
- 令和7年度末：各公民館行事大忙し！・・・・4P～6P
- 地域トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・7P
 - ・子ども会行事に子ども達が発する！（表紙）
 - ・中学生が入江地区の梅林作業をお手伝い
- 公民館だよりを5月号からリニューアル！・・・・10P
「新コーナー」続々・・・



海響館入り口で記念撮影！

須佐地域各地区スポーツ大会

春の行事賑やかに！

ようやく春の陽気がちらちらと見え始めた3月。須佐地区、弥富地区ではそれぞれ、令和7年度の締めくくりの行事が開催されました。

エンジョイ

グラウンドゴルフ大会

須佐地区

3月1日（日）、ポカポカと暖かな日差しの下、約40名が育英小学校グラウンドに集まり、グラウンドゴルフを楽しみました。

競技は、4名〜5名を1グループとし、8ホールを2回まわった合計打数が一番少ない順から優勝、準優勝、3位を決めました。



楽しんでプレーする中学生

ホールポストを狙って球を打つのですが、ホールポストを避けて左右に球が転がったり、中には砂場へ入って身動きが取れなくなる場面もある中、校舎前では、打った球が昇降口前の階段を2回跳ねたと思ったら手すり下のコンクリ壁に当たって跳ね返り、そのままホールポストへ入ってホールインワンとなり、それを見ていた皆さんが驚いていて、「すごい！動画でとってあればよかったね」という人もいました。

令和7年度の締めくくりともいえるこの大会を、参加者やスポーツ振興会の皆さん共々プレーを楽しんだ初春のひと時でした。

大会結果は、次のとおりです。



優勝した村田さん
おめでとう！

【大会結果】

優勝 村田和美（下三原下）
準優勝 椋 晶雄（山根丁東）
3位 和田光生（横屋丁）

最多16チームによる熱戦！

ソフトバレーボール

弥富大会

例年のスポーツ行事の最後を飾るソフトバレーボール弥富大会が3月15日（日）、弥富体育館を会場に開催され、田万川から10チーム、須佐から2チーム、佐々並から2チーム、川上から1チーム、弥富から1チームの計16チームが参加し、盛会に行われました。



アタックを2人でブロック！止められたか…

進出し、準決勝・3位決定戦・決勝戦を行いました。

その結果Aコートから「DL+B」、「江崎SVC A」、Bコートから「Sa Int」、Cコートから「R.I.P」が決勝トーナメントに進出し、優勝が田万川から参加の「Sa Int」、準優勝が「DL+B」（田万川）、3位が「江崎SVC A」（田万川）となり、「Sa Int」は2連覇を達成しました。

須佐から参加の「IP」は、激戦区のBコートで2ゲーム共に3セットとなる頑張りを見せましたが、惜しくも4位でした。同じ須佐から参加の「R.I.P」はCコートで、2ゲーム共にストレートで勝ち、Cコートの一位となりましたが、次の準決勝では、田万川の「DL+B」と手に汗を握る熱戦となりましたが、健闘むなしく敗戦となりました。

弥富から参加の「鈴小OB」は、年齢差をもちとせず頑張ったのですが、相手の巧みなサーブや力強いプレーに屈してしまいました。須佐地域から参加されたチームの皆さんは、日頃の練習の成果を充分に発揮されましたが、惜しくも決勝に進出することはできませんでした。また、来年度に向けて頑張ってくださいことを期待しています。



須佐地域内の卒業・卒園式

3月に入り、保育園、小・中学校では、卒業式が行われ、思いの詰まった園舎や校舎を後に、旅立っていきました。

※記事、写真は各学校・保育園から提供

須佐中学校

3月7日土曜日、第22回卒業証書授与式が行われました。式は厳粛かつ温かい雰囲気の中で進行し、卒業生はそれぞれの未来に向けて新たな一歩を踏み出しました。



萩市立須佐中学校



夢への実現に向けて一歩踏み出す卒業生



校長の式辞では、これまで学校を牽引してきた卒業生の努力と成長を称え、これからの挑戦に向けた激励の言葉が贈られました。その後、PTA会長からの祝辞があり、卒業生のこれからに活躍を期待する温かいメッセージが伝えられました。

卒業生答辞のあいさつでは、生徒会長の寺本歩夢さんが感謝の気持ちとともに、友人や先生方との思い出が語られ、会場は感動に包まれました。式後の学級活動では保護者も交えて和やかな雰囲気、卒業生の門出を祝いました。

卒業生の皆さんの今後の活躍を心から期待しています。



育英小学校

3月19日（木）に、「令和7年度育英小学校 第79回卒業証書授与式」を行いました。

6名の卒業生は、ご来賓・保護者の皆様と在校生・教職員が見守る中、立派に卒業証書を受け取り、堂々とした態度で将来の夢を述べました。お別れの言葉では、小学校生活の思い出や成長、在校生への思い、保護

者や地域の方々、教職員への感謝の気持ちを伝えました。

地域の方に生けていただいた生花や多くの祝文に励まされ、卒業生は晴れ晴れとした顔で育英小学校を巣立っていきました。



1年生から随分成長しましたね！

須佐保育園

3月7日（土）、快晴の空のもと卒園式を行いました。

晴れやかな表情で登園した4人の卒園児たち。お父さん、お母さんと一緒に嬉しい気持ちで、嬉しそうに駆け足で玄関へ入ってきました。

大好きなお父さんやお母さん、一緒に遊んだ保育園の友達、そっと寄り添ってくれた先生たちに見守られる中、緊張しながらステージへ上がります。立派な姿で保育証書を受け取り、大きな声で将来の夢を語りました。長い子で5年10か月、短い子でも3年9か月間を過ごしたことに感慨もひとしおです。



笑顔で卒園の記念写真！

卒園式を迎える度に、さみしさと

子どもと過ごす時間の尊さを感じます。みんな、おめでとう！そしてありがとう！無限の可能性に満ちた子どもたち、大きく羽ばたいてほしいと願います。



中学校生活への期待と不安を胸に校門を後にした卒業生に、引き続き温かいご支援をいただきますようお願いいたします。

公民館行事

手作りカップケーキ で茶話会を…

須佐あおば勉強室

2月17日（火）、須佐公民館で春に合わせたカップケーキ作りに、14名が参加しました。



楽しくおやつ作りをする参加者

3月ということもあり、「さくらの塩漬け」と「よもぎ粉」を使って、3種類のカップケーキを作りました。基本の材料は小麦粉ですが、1つは、さくらの塩漬けを混ぜ込んだものを蒸かしたもの、後の2つは、よもぎ粉を混ぜ込んだものを半分に分け、チョコを混ぜたものにジャムを載せたものと茹で小豆を混ぜたもの

をオープンで焼いたものの3つです。

カップケーキが出来上がると、令和7年度のあおば勉強室の感謝状、



きれいな桜の花のケーキ

《R7年度の感想》

○こんなにやく作りは、毎年楽しみにしている。

○染め物も良い。いろいろなしほり方によって自分なりのものが出来た。

○染め物、ゴキブリ団子作り、こんにやく作りは継続出来たらよい。

○研修は、他の団体行事と重ならないように。

8年度の教室では、どんなことがしたいか、また、どんな話が聞きたいかなどを話していただきながら約30分間、ケーキをおいしく頂きながら茶話会を行いました。

今年度も楽しい企画で案内いたしますので、是非ご参加ください。



春ケーキ出来上がり！

モルックで 大盛り上がり！

須佐さつき学級・閉講式

3月19日（木）の須佐公民館高齢者学級「さつき学級」では、「程よく体を動かそう」をテーマに、北欧フィランド発祥のスポーツ『モルック』の大会を開催しました。

モルックは現地では「サウナとビールを楽しむながら」親しまれているほど、リラックスした雰囲気です。力がいらすルールも簡



みんなが見守る中、モルックを投げる参加者

単なため、老若男女問わず誰もが主役になれるのが最大の魅力。当日は18名の皆さんが、須佐文化センターホールに集まって下さいました。

モルックの説明の後、早速4チームに分かれて総当たり戦を実施。2セット先取のルールで挑みました。狙いどおりに木棒（モルック）が当たれば「おおー！」と歓声が上がります。あと少しのところで外れれば「あー！なんで！」と悔しさが漏れる場面もありました。真剣に一投へ集中される方がいたり、失敗しても笑い声が絶えなかったり、和気あいあいとした時間が流れました。

予想以上に試合が白熱していましたが、残念ながら時間の都合で、全順位を確定させるまでには至りませんでした。最後は暫定の順位に基づき、用意した景品を皆さんで楽しく選んでいただきました。

参加者からは「とても面白かった」「またやってみたい」という声を多数いただきました。

モルック大会の後、令和7年度の閉講式を行い、最多参加者に賞状が贈られました。

令和8年度も、多くの参加をお待ちしています。



表彰式の様子

グラウンドゴルフで交流！

弥富さつき学級・閉講式

3月6日（金）、令和7年度最後の学級として、萩市老人クラブ連合会須佐支部との共催による「室内グラウンドゴルフ」を開催し、31名の方が参加されました。

多目的ホールやふれあい研修室などにコースを設け、AとEグループに分かれてプレーを楽しみました。

天候に左右されることなく楽しめる室内でのグラウンドゴルフは、身体を動かすだけでなく、参加者同士の交流を深める機会にもなり、和やかな雰囲気の中で行われました。



交流センターの廊下でプレーする参加者

コースを前に「今日は上手く入るかね」「頑張ろうね」などと声を掛け合いながら、皆さん真剣な表情で

プレーをされていました。ボールがホールポストに近づく「おしかったね！」「もうちょっとじやったのね」と周りから声が上がリ、見事ホールインワンされると大きな歓声と笑顔が広がりました。

中には、ホールインワンを4回も達成された方もおられ、「まあすごいねえ！」と大いに盛り上がっていました。

ゲーム終了後、表彰式を行い、男女別の上位3名と、ブービー賞の方に賞状などが贈られました。

最後に、令和7年度の閉講式が行われ、全6回全てに参加された方に、皆勤賞が贈られました。

令和8年度の参加もよろしく願います。

和やかな雰囲気の中で作業が進められました。

【室内グラウンドゴルフの結果】

（男性の部）

優勝 森中 保（山根丁東）

準優勝 坂本和見（弥富2区）

3位 棕 晶雄（山根丁東）

（女性の部）

優勝 須山タカ子（弥富5区）

準優勝 藤井トセ子（弥富12区）

3位 岩本裕子（弥富7区）

【令和7年度皆勤賞】

岩本裕子（弥富7区）

おめでとうございます。

味噌づくりに挑戦！

弥富物作り教室

3月13日（金）、第2回目の物作り教室を行いました。講師は、弥富9区の齊藤洋子先生です。15名の方に参加していただき、今回は、味噌作りに挑戦しました。

はじめに、齊藤さんから味噌作りの手順や材料について説明がありました。

出来上がりが1kgの味噌に対して材料は、大豆120g、乾燥の米麴300g、粗塩120g

大豆の煮汁200ml、そして仕込みに使うポリ袋です。家庭でも比較的取り組みやすい方法で、和やかな雰囲気の中で作業が進められました。

まず大豆を柔らかく煮る工程から始まります。火にかけて柔らかくなるまでおよそ2時間かかり、参加者の皆さんは鍋の様子を見ながら、煮え具合を確かめたり、先生の説明を聞いたりしながら、味噌作りの手順を学びました。

大豆が煮上がるまでの待ち時間には、先生が作ってくださった米麴を使った甘酒が振舞われました。

参加者の皆さんから「美味しいね」と笑顔がこぼれ、日頃の出来事などで会話が弾み、楽しい交流の時間となりました。

大豆の様子をチェックする齊藤さんと参加者



大豆の様子をチェックする齊藤さんと参加者

大豆が十分に柔らかくなったところで、いよいよ味噌作りの作業です。まずポリ袋に大豆を入れ、しっかりとつぶします。それから米麴と塩、そして煮汁を加えてよく混ぜ合わせます。空気を抜きながら形を整え、各自持ち帰って熟成させる準備ができました。初めて挑戦される方も多く、「出来上がりが楽しみやね」と期待に胸を膨らませておられました。

作業を通して、保存食づくりの知恵にふれるとともに、参加者同士の

交流も深まり、終始和やかな雰囲気に包まれた教室となりました。

これから数カ月かけて味噌がゆつくりと熟成し、どんな味に仕上がるのか、皆さんとても楽しみな様子でした。

今回も学びと交流にあふれた、充実した物作り教室となりました。

ボッチャで締めくくり

つどい会

7年度最後のつどい会は、ひな祭りランチを作りました。ちらし寿司をメインとし、副菜の大根なますは、ちりめんじゃこの代わりに桜エビを入れたことで淡いピンク色にそまり、ランチに彩を加えました。



おいしそうなひな祭りランチ

また、カブの葉とゆず味噌で白和えも作り、ゆずのいい香りも感じられ、味覚視覚嗅覚で楽しむランチができました。今回もポリウム満点で、どれから食べるか悩みながらも、皆さん「おいしいね」と楽しそうに箸を進められていました。

午後からは、5チームに分かれてボッチャをトーナメントで行いました。皆さん久しぶりのボッチャだったのでジャックボールを近めに投げて競っていました。

1球1球集中して投げるのですが、思っていたようにボールが進まず「あー！そつちじゃないよ！」「次

はしつかり転がってよ！」とボールに指示を出している方もいました。また投げるときの力加減も難しく、皆さん一喜一憂しながら楽しまれていました。

中でも今回優勝したチームは、1回戦からチームワークと切れのあるボール運びで、ジャックボールにピタリとついたり、自分のチームのボールにぶつけてジャックボールに近づけたりと得点を重ねていきました。決勝戦では、両チームとも和やかな雰囲気の中、一歩も譲らない熱い試合がありました。



点数を稼ごうと集中してボールを投げる...

勢いよく投げ、相手の球を弾き飛ばす好プレーもありそのプレーを見ながら「私たちもあすればよかったのかも」「次の時は私もあすよう」など試合を参考にされる姿も見られました。



生き活き教室編

だんだん暖かくなり、歩きやすい日が多くなってきました。3月の歩こう会は、松原から青葉台へ上がり、久原園地の展望台へ向かいました。今回は、話しながら少し息が上がるかなというぐらいのペースで歩きました。

最初の難関は、松原から青葉台へ抜ける上り坂。久しぶりということもあり、すぐに息が上がってしまい「まだ青葉台じゃないのか！」「青葉台ってこんなに遠かったっけ！」と途中途中思いながら歩を進めました。青葉台から国道315へ抜けるまでに息は整い、少し気持ち的にも余裕が出たのですが、すぐ次の上り坂に差し掛かります。なんとか久原園地につき小休憩を挟んで、久原園地の展望台にむけて歩きました。軽いアップダウンを繰り返してついていた展望台では、目の前に日本海が広がり、まだ木の葉が茂ってないの



早咲きの河津桜が見ごろでした！

ので、皆さん展望台でしばらくおしゃべりも満喫してから入江地区に向けておりました。



「久原公園」の建物

途中広い場所にて「ここは何かな」と皆さんと散策をしました。屋根があり、壁に沿って座れそうな椅子のようなものもあり、パッと見た感じキャンプ場にある炊事場のような雰囲気

地域トピックス



須佐地区子ども会

お菓子作り&ニユースポーツで楽しむ

去る2月23日(月・祝)、須佐地区子ども会育成連絡協議会の主催による「お菓子づくり&ニユースポーツ」が開催されました。

当日は、幼児から小学生、そして保護者や地域の皆さんが集まり、半日でしたが、公民館は終始にぎやかな活気に包まれました。

プログラムの幕開けは、「須佐ゲストハウスぽつとで」人見さんのご指導によるチアダンス体験です。まずは準備運動。子どもと大人が手をつなぎ、リズムに合わせて仲良くスキップする姿がとてよかったです。



ダンスの練習をする子ども達

最初は少し照れていた大人たちも、練習が始まると子どもたち以上に真剣な表情に！熱心に踊る大人の姿を見て、子どもたちも楽しく踊っていました。

わずか1時間の練習でしたが、最後には全員が音楽に合わせて、一節分を踊りきることができました。

続いてのお菓子づくり体験では、「Gelateria Fortuna」福島さん

に教わりながら、みんなでクッキーを焼き

上げました。仕上げにはチョコペン

を使って思い思いにデコレーション。世界に一つだけの可愛いクッキー

が並び、館内は甘くて香ばしい香りと子どもたちの満足げな笑顔でいっぱいになりました。

さらにモルック体験も！狙い通りの木柱を見事に倒す場面が何度もありました。「楽しかった！」「おいしかった！」と、参加者からは喜びの声が次々に寄せられていました。盛りだくさんの内容で、子ども達も楽しく過ごせたようです。



クッキー上手に焼きました

楽しかった下関！

(表紙関連)

3月20日(金)の春分の日には、家族やお友達同士で下関の「海響館」と「はいからつと横丁」へ遊びに行きました。3連休ということもあり、多くの人が出で賑わっていました。

当日は天候も良く、海響館では、イルカショーやいろんな海の生き物を散策し、また、午後のはいからつと横丁では、乗り物やゲームなどでめいっぱい楽しみました。

帰りのバスの中でも、子ども達は疲れた様子もなく、一日中元気な声が聞こえたバス遠足でした。



水槽のドームの中を散策

中学生が入江の梅林作業に奮闘！



一生懸命作業をする生徒たち

3月13日(金)、入江地区に植えてある梅林の整備を、須佐中学校の1、2年生と海の森をつくる会が一緒に行いました。

この梅林整備は、数年前から行っていて、毎年この時期になると、中学生も授業の一環としてお手伝いしているそうです。

当日は、草取りと肥料まきを行いました。生徒たちは、硬い土に生えている草をクワなどのいろんな道具を使って掘り起こし、梅の木の周りに肥料をまくための溝を掘ったり、バケツをもって肥料をまいたり約1時間で作業を終えました。

地域の原動

公民館

奮闘記

57



旧 須佐町中央公民館

次代に伝えたい

102人の証言から①

あの日 あったこと

育英小学校 6年 Iさん

あの日は、家で夏休みの宿題をしながら夜の花火大会の事を考えていました。家には、祖母、祖父、弟と私の4人だったので、雨が強くなったときは大変だと思っていました。少したつて雷がたくさん鳴り、停電になったり、防災無線が何度も大雨警報などを放送したりしていました。不安になって仕事中の母や父に防災無線が鳴るたびに電話をかけました。トイレに行つて水を流すと逆流してきて、あたりが水びたしになりました。

外を確認すると、みぞからどろ水があふれそうでした。少したつて、また見ると道がどろ水の川になっていて、雨が激しくふる中、消防団

の方々が見回りをしていました。

昼前には、父がどろ水の川の様な道を急いで帰つて来ました。しかし、



7/28 中津交差点

母は電話するとながりがません。心配になり水が引いてきたころ、父がむかえに行くと車の中でまっていた。電話がつかないがなかった理由は、電池切れが原因でした。

私の家は、ゆか下に少し水が入っただけでしたが、親せきの家は、川のすぐ横なので1階の半分以上がつかりました。だから、どろ出しなどの手伝いを少ししました。

水害は、こわかったし、びつくりしたけど、この経験をこれから先活かしていきたいと思います。

出かける間に起こった豪雨災害

育英小学校 6年 Yさん

午前中からお母さんと益田に行つていて、雨が降っていました。店の中にも、雨の音が聞こえていました。そして、水海の人から「家に帰れない、車が通れない」というメールが入りました。家にいるお姉ちゃんに電話して、貴重品をベツトにのせて、お姉ちゃんとは、友達の家にも避難しました。すぐに須佐に帰りました。須佐に帰ると中、車が半分かかっていました。駅に行くと、すでにちゅう車場は、車でいっぱいでした。そこへお姉ちゃんがやってきました。車の中へ入り、昼ごはんを食べていなかったので、益田で買ったおかしを食べていました。ちゅう車場はいっぱい、車をとめられない人もいました。水がひくまで、駅

で三時間待ちました。線路から家の様子を見てみると、田んぼの水があふれ出していて、車が通れるじやうたいではありませんでした。



7/28 水海地区

家に帰ると、水が来たあとがありました。げんかんが少しつかつていて、くつがぬれていました。外にでると、虫がたかいところにひ難していました。そして、マンホールのふたがはずれていて、道路が土でべちよべちよでした。家に入つて水を出してみると、とてもにごつていて、水の出る勢いが弱くなっていました。家にあるペツトボトルに水を入れて、トイレなどを流していました。そして、その後私はボランティア活動をしました。

つづく

ぶらぶら

まちあるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラが、わが町を紹介します。今回は、前回に引き続き「禁門の変と須佐」須佐兵達の活躍を紹介し

徐々に高まる気運

2人は直ちに淀城に赴き、城門を叩き大声で呼んだ「長州藩の者であるが、城主に面謁(めんえつ)／面会し、陳情したい。時に稲葉公は征夷府の閣老である。」門兵は2人を逮捕しようとした。

樸助は怒って言った「我が兵2人ノミ、敢(あえ)テ力ヲ持ツテ抗スルニ非(あら)ズ。縛(ぼく)セント欲(ほつ)スレバ則チ縛セヨ。我等素(もと)ヨリ禁ヲ犯スヲ知ル。然(しか)レドモ、主冤(しゅゆめん)ヲ訴フルハ臣子ノ情誼(じようぎ)。自ラ已ムコト能ズ。今一表ヲ持シテ

茲ニアリ。経ヲ居候ニ達セシメバ、比身縛スベシ。比ノ表奪ウベカラズ。」と衆を非して進み書を老臣に渡した。候は2人を客室に導き厚く待遇したが、書は2人に返還した。2人は「候は征夷府の政をする人である。今この書を受け取り、直ちに松平肥後守に渡されんと、我等が入京の禁を犯しても、それは貴籍の責任になりますぞ。」と言ったので、遂にその書を正式に受け取った。2人は命を果して、天王山に帰ってみると、久坂玄瑞は本営に戻っていた。もう、時は6月26日になっていた。

(回天実記より、一部要約)

このことにより、美津守はこの書を一橋慶喜に伝え、慶喜は朝議を開いて八方宥解に努め、無事を計ろうとした。しかし、7月に入ると嘆願を続ける一方で、更に長州軍の上京が続いて、家老益田親施の軍600名が後詰めとして男山に布陣した。

幕府は近国諸侯に檄を発し、諸般



回天実記草本

の兵約8万人加入し、長州兵の攻撃に備えた。

7月16日 長州の哀訴嘆願を退け、長州兵への退去命令が出され、朝議が長州誅伐(ちようしゅうちゆうばつ)を決定した。

一方7月

15日より布

陣の終わつ

た益田親施

の処へは、

連日のよう

に来嶋又兵

衛、真木和

泉、久坂玄

瑞らが、来

会して協議

した。また、

三家老(福

原越後、国

司信濃、益

田親施)で、

などで熟議の上、連署して討姦激を

つくり、それを朝廷に奉呈すると共に、

諸藩へも同意義の書を頒布して、

長州藩の中情正義を表明した。時は

7月17日であった。

他方国もと(長州)では、藩世子

(毛利定広公)が七卿の中の五卿

(三条西、四条、東久世、壬生、三

条実美)と共に兵を率いて、海路進



来嶋又兵衛



真木和泉



久坂玄瑞

尻を出帆した。

この時の軍勢は、先鋒第二陣、斥候備、中軍、尾翼軍の外、病院船も二隻用意するという相当大きな軍団であったと言われている。

「禁門の変」が勃発

ついに禁門の変が勃発した。戦いの記録を見ますと、時は元治元年(1864)7月18日夜半(19日朝)、まずは福原越後の率いる、一隊700人が伏見街道を北へ進んで、藤森付近で待ち構えていた優勢な大垣藩兵に迎撃され、福原自身も負傷して伏見に退却した。そこで改めて兵をまとめて、竹田街道を北進したが、丹波橋付近で、彦根・会津藩兵に打ち破られ、山崎に敗走した。

一方、嵯峨の天龍寺(京都右京区)を本陣としていた国司信濃、来嶋又兵衛等一隊800人は、中立売御門(なかだちうりごもん)、下立売御門(京都御所)の二方面から会津藩が守備する蛤(はまぐり)御門に殺到し、一時は御所内まで突入した。

この戦闘では、流れ弾が禁裏内にも乱れ飛んだほど最も激しい戦いであったことから、「蛤御門(禁門)の変」と呼ばれた。



【「ちおこフェスタ2026」を
開催しました!】

※「ちおこ」は地域おこし
協力隊のこと

まいど!

地域おこし協力隊の山本です!

3月1日の日曜日、萩・明倫学舎
にて活動報告会「ちおこフェスタ2026」を開催しました。須佐からもたくさんの方に足を運んでいただき、
本当にありがとうございました。

日頃の活動
内容や、僕の
想いをお伝え
できて、とても
嬉しかったです。
当日は
協力隊OB・OG



協力隊のメンバーと...

によるトークセッションや、浜崎地区で活動中の嘉瀬隊員がプロデュースしたコーヒーマシンの試飲・販売も行い、賑やかな一日となりました。

4月からは萩市の協力隊も5名体制となります。新しい仲間共々、どうぞよろしくお願いします!

【公民館で待ってます!】

(定期開催中の活動)

須佐公民館を拠点に、主に3つの活動を定期開催しています。

○スマホなんでも相談所

基本は第2・第4月曜日に開催。マンツーマンでお悩みを解決します。

○須佐公民館スマホクラブ

第1水曜日に開催。毎回違うテーマで、みんなで楽しくスマホを触る時間です

○韓国力フエタイム

第2日曜日に開催。韓国好きが集まって、ゆるくお茶を楽しんでいます。

「スマホのこれ、ちょっと聞いてみたい」「異文化に触れてみたいな」という方、ぜひお気軽に遊びに来て

ください。どなたでも大歓迎です! 公民館が、皆さんの楽しく集まれる場所になればいいなと思って活動しています。

これからもよろしくお願いします。おおきに!

公民館だより「新コーナー」のお知らせ

5月号から「新コーナー」として、次のことを考えています。

【地球の歩き方・須佐編】

このコーナーは、須佐地域の特色を、歩きながら自然・歴史・文化などに触れ、また、グルメなどにも触れてみたいと思います。地域内でも「まだあそこに行っていない」という方もおられるかもしれません。

そこで、生き活き教室の「歩こう会」でも歩かれていますところもありますが、もう一度おさらいのつもりで歩いて、「須佐地域の歩き方」として紙面で取り上げてみたいと思います。皆さんもぜひ、一緒に歩きましょう。



【山岡保治の古今物語】

以前、須佐地域のまちの様子を、昔と今の写真で比べたコーナーがありました。今回、新たに山岡保治さんが撮られた昔の写真と今の写真を見比べてみるコーナーを新設しようと思います。「こんなだったね」「こんなことあったね」と懐かしんでいただけだと思います。

【行事に参加された感想の掲載】

公民館だよりの昔の掲載をたどってみると、行事に参加された方の感想文が載っていました。今回、それを復活させたいと思います。たくさんの方が行事に参加されても、公民館だよりに写真等で掲載されるのはほんのわずかな人だけです。

もっと多くの方を公民館だよりに参加させてあげたいとの思いで、皆さんに協力していただきたと思います。よろしくお願いします。

【私のお気に入りの一品(仮称)】

皆さんが普段から作成されている作品や季節の花、景色などの写真など、公民館だよりに掲載してほしい「お気に入りの一品」を募集しています。また、「我が家のお宝」も掲載できるものも募集します。要望があれば、写真も撮りに行きますよ。どしどし応募ください。

★「須佐地域公民館だより」への問い合わせは...

須佐公民館

TEL 02310-607

生涯学習作品コーナー

【俳句】

春隣を待ちきれないと沈丁花

(山根丁東) ゆめはるか

妻の手が受けて消えゆく春の雪

(浦東) 西田明則

陸橋を越えし人あり朧月

(浦東) 西田明則

【短歌】

咲き乱れ香り漂う白梅の



枝を引き寄せ匂い確かむ

(青葉台) 田村雅利

フィギアのペア金メダル

リクリュウの熱き思いの

技ありてこそ

(山根丁東) ゆめはるか



須佐の偉人伝 大塚均

109

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚 均 (1911-1998)

花シリーズ さくら切手

日本を代表する花であり、単にサクラと言えばソメイヨシノを指す場合が多い。一般的に俳句等で春を表現する季語に用いられ桜色と表現される白色や淡紅色から濃紅色の花を咲かせる。サクラはヒマラヤに祖先種の起源があると考えられており、ヒマラヤザクラは2万5000年前の化石が見つかった。

昭和55年10月1日花シリーズとしてさくら50円通常切手が発行された。大塚均69歳筆の作品です。

2026 4月 地域カレンダー 須=須佐公民館 弥=弥富公民館 =生き生き教室 =学校・保育園行事 =スポーツ関係 保セ=保健センター =子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
 春の交通安全運動 期間：4/6～15			1 つどい会 10:00	2 	3	4
5	6 麻雀クラブ 13:00 ピンポン 13:30	7 	8 須色えんぴつ画 13:30 弥小・中入学式・始業式	9 須習字教室 10:00	10 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	11
12 須韓国カフェ 13:30	13 須スマホ相談所 9:00 エコクラフト 9:30 ピンポン・ボッチャ 13:30	14 須パッチサークル 9:30	15	16 生き活き体操 8:45	17 	18
19 家庭の日	20 麻雀クラブ 13:00 ピンポン 13:30	21 	22 須色えんぴつ画 9:30 弥Gゴルフを楽しむ会 9:30 音楽療法 13:30	23	24 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	25
26	27 須スマホ相談所 9:00 エコクラフト 9:30 麻雀クラブ 13:00 ピンポン・ボッチャ 13:30	28 須パッチサークル 9:30	29 ※昭和の日 ■須佐ふれあいウォーク	30	 子どもの読書週間 (4/23～5/12)	

須佐ふれあいウォーク開催！

○日時 4月29日（水・祝）
 ○場所 津和野町
 ※須佐公民館9時集合
 （詳細は回覧チラシに掲載）

久しぶりの地域外でのふれあいウォークとなります。皆さん、多くの参加をお待ちしています！



※須佐さつき学級、あおば勉強室の詳細については、回覧チラシをご覧ください。

●須佐あおば勉強室
 「ゴキブリ団子を作ろう！」
 ○とき 5月19日（火）
 午後1時30分から
 ○ところ 須佐公民館



●須佐さつき学級・開講式
 「防災学習
 ～もしもの時に備えよう～」
 ○とき 5月14日（金）
 午前8時須佐公民館発
 ○ところ 山口西部防災指令センター（下関市）

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は『19日』です
 ★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口（R8.2月末現在）

	世帯数	人口	前月比
須佐	913戸	1,588人	（1人）
弥富	205戸	381人	（△2人）
合計	1,118戸	1,969人	（△1人）

昨年比 世帯数△17人 人数△65人

編集後記

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、今年で15年が経過しました。私は手塚猛昌を研究するため毎月の時刻表を当時から集めていました。ちなみに震災の翌日3月12日は、九州新幹線が運行開始した日でもあります。しかし、世の中は震災一色で報道機関もこの情報を伝えることはありませんでした。ところが、翌日に発行された時刻表は、九州新幹線の表紙で、なんと1冊の定価約1000円の値段が市場価格6万円のプレミアム価格となった皮肉な話がありました。